

24区

私達が住む日本は自然と距離が近く恵みも多い国です。色彩豊かな四季があり豊富な水、そして、海や山の幸があります。だけど、これほど頻繁に大きな災害に見舞われる国も珍しいと思います。地震だけでなく風水害や噴火など様々な自然災害を経験しています。今回24区はスピーカーが公民館にのみ設置されていると云う事で、公民館を中心に近隣住民の方だけに絞ってお知らせをしました。祭日であり天候も不順だった為、19名と参加者数はやや少なかったです。その中で今回集合の状況を見に来られていた、北九州大学の村江准教授にミニ講義を行っていただきました。「大風や大雨など『空』が原因で起きる気象災害には必ず兆しがあり必要な備えを準備する時間がある。明日は大雨になりそうだ！台風が近づいている！といった具合に各自が備えるだけでなく、近所に「備えは大丈夫？」と一声かければ地域で備えの連携ができる。一方で地震など『地面』で起きる災害は予測が出来ないので日頃からの備えが大事になる。情報収集に際してはどうしても個人差や世帯差が生じる為地域の中でキーマンとなる人達が近隣住民に知らせる事が重要になる」と教えていただきました。参加された方からは「勉強になった」「これからも続けて欲しい」と云う意見が聞かれました。

東25区



2月23日（金）9:30分より今光3丁目を対象区域に指定し、避難訓練を行いました。参加者から色々な意見を聞かせて頂きました。近年、防災は自助、共助が注目されています。地域の安全は防災の取り組みで守る。自分の身は自分で守ると同時にお互いに助け合う地域づくりに取り組む。災害から地域を守るために前向きに地域の防災への取り組みを推進することが重要であると思いました。

西25区

用勺町地区避難訓練は、令和5年2月23日（祝、金）朝10:00公民館からスピーカーで避難指示を行いました。参加者は約70名。アンケートで避難する経緯を回答いただきました。放送25名、回覧板23名、チラシ9名、公園掲示板4名、自治会案内板10名、ロコミ2名、友人2名。今年度のお正月に、石川県を中心とする大地震が発生し222名を超える犠牲者がでております。当自治会も昨年から周知しており、藤ノ木市民センターを中心に災害に強い(犠牲者をださない)自治会づくりを推進。安全安心な町づくりをテーマとして昨年度より取り組んでいます。



みんな
de
Bousai

23区

23区スピーカー訓練は事前に各組長に「みんなで防災まちづくり推進事業」での取り組みで行う主旨と時間、集合場所をプリントして配布（公民館近隣の7組には個別に配布して準備）し、藤ノ木校区一斉の訓練に参加、実施した。23区は10:30より「サロン宮丸」を開催するので9:00より15分間隔で2回放送、北西の風と小雨ではあったが10時終了までの1時間28名宮丸公民館に集合された。状況として訓練を周知された方21名、放送のみ（7名）であった。
＝参加者全員にアンケートを記入していただいた。

- ① 「訓練です」を数回繰り返すと意識が集中するのでは…その後、次の指示を短く伝えてくれると耳の遠い老人にも良いと思う。
 - ② サイレン音が良い。耳が遠いとスピーカーは少し聞きづらい。
 - ③ 戸を閉めていると聞きづらいし、TVをつけていると聞こえない。
 - ④ その時に応じた内容を放送して欲しい。
- ※ 貴重な意見をいただき、今後の活動、訓練等に生かしたいと思う。

24区

餅つき大会

1月14日（日）24区恒例の餅つき大会を行いました。ここ3年程中断しており、参加者が少ないのではと心配されましたが、当日は老若男女多数が集まり賑やかに始まりました。普段は滅多に口にする事のない、熱々のおこわ、大根おろし餅等に舌鼓をうち冗談が飛びかい、より地域の親睦を深められ楽しいひとときを過ごしました。最近は余り見かける事のない餅つき風景なので子供たちに思い出として残ってくれば幸いです。それぞれ個性のある不揃いの丸餅？を参加者全員お土産として持ち帰り散会しました。近所の集まりが少ない昨今、今後も可能な限り続けたいと思います。気の早い話ですが来年も皆様の参加をお待ちしてま～す。

23区

防災講話

藤ノ木市民センターが継続的に取り組んでいる「防災」について23区が実施した内容を紹介したいと思います。

（1回目）11/24（金）19:00～冬の火災予防について家庭での予防対策の講話 藤ノ木第5分団の職員（他21名出席）

火災の原因として→寝煙草の危険性、天ぷら時の温度、調理中にその場を離れる等、ストーブの回りに洗濯等干たりしない…
→予防対策として火災警報器、消火器の設置、防火カーテンの設置→逃げ道を2方向確認しておく事

（2回目）1/30（火）10:30～「災害時の緊急避難について」 若松消防署予防課係長 稲見様（他37名出席）

大きな災害に合うと冷静な判断がつかないのでその様な時の行動として

・激しい「ゆれ」の時はすぐに「頭と首」を守る。（自宅では毛布、布団や机の下、外出時ではカバン等で）

・一旦「ゆれ」が落ち着いてから火元の確認、ブレーカーを落とす。又、外に近い所の窓や戸を開けておきすぐに逃げられるような態勢、靴をはいておく。

注1）センター避難以外、自宅待機も必ずセンターに行き在宅登録をする必要あり。登録しなければ手元の物資が届かない
まとめとして

① 防災訓練の実施の励行と連絡網の重要性 ・「何かあったら集会所」隣近所に声かけをしながら

・避難区域以外は在宅で、それ以外はお寺やマンション等を検討課題

② 激甚化する自然災害に対する区民の感心度も高く、予想以上の参加者で今後の取組みに大いに役立てそうな結果がみられた。

西25区

幻想的な竹あかりに魅せられて

初めまして、西25区の中嶋です。昨年度より子供対象のイベントとして「竹あかり」を作り、自治会の皆様に披露しております。きっかけは小倉城の中庭にて毎年、7月23日に実施しております竹あかりが千本近くありまして、NHKにて放送されており、とても感動しました。出来たら、当自治会の子供たちに作成からお持ち帰りまでの作品を作りませんかと役員さんに提案したところ、依存無かったことから、12月を対象としたイベントへの準備（10月の竹切り～デザインの取得～11月下旬までの電動ドリルでの作成）をして、当自治会役員さんと子供対象に披露しました。主に子供を対象としていましたが、役員の方や石峰なかよし会の方にも好評でした。ですので当自治会の新年合同常会（1月8日）の景品としても提供しました。今後は毎年、年末から年明けまで公民館周辺で幻想的な「竹あかり」をお楽しみください。

東25区

独り暮らしの集い

令和5年11月6日（月）10時より、東25区公民館にて独り暮らしの集いを行いました。当日は、今光交番より大石警部補様におこしいただき、最近の藤ノ木校区の交通事故、犯罪状況等についてお話しして頂きました。その後は自治会員有志によるカラオケ大会を行い、11時半まで参加者全員で楽しい時間を過ごせました。帰りに皆さん弁当をもらって散会しました。